



資生堂企業資料館 資生堂と椿 展

2012年2月7日(火)~5月6日(日)

日本には千年椿という言葉がある通り、ツバキは寿命が長く、冬枯れもしない艶やかな葉をもった姿から、長寿の霊木としてあがめられ、正月の厄払いの儀式などに使われました。このようなツバキに対する日本独特のイメージは、古来中国では慶事を表す「松竹梅」を、日本では「松竹椿」に置き換えて吉祥を示してきたことにもよく表れています。

1915年、資生堂初代社長の福原信三は、それ以前の資生堂薬局で使用していた鷹の商標をツバキへと変更しました。それ以来今日に至るまで、資生堂にとってツバキのイメージは商標ロゴマークとともに広く親しまれてきました。

日本人にとってツバキとは、そして資生堂にとってツバキとは。ツバキの花が咲くこの季節に、また、資生堂が創業140周年を迎える本年最初の企画展示として、改めて日本人とツバキの歴史を捉えるとともに、ツバキと関連する資生堂の商品やツバキをモチーフとしたデザインの歴史を辿ります。



キュージーヌ シセイドー
オリジナルプレート 1984年



関連企画① 特別講座「つばき 椿 TSUBAKI - 椿に通ふ夢」

日時：2012年4月28日(土)13:30~15:00
講師：永田 香(株)資生堂 宣伝制作部 アートディレクター

花椿マークとしてとても馴染みの深い花 - 椿。
資生堂の様々な美の活動は「椿」を通してインスピレーションを受けてきました。
今回の特別講座は、資生堂のクリエイションを通じて、その美のユートピアと自然へのまなざしを見つめます。当社宣伝制作部デザイナーが、資生堂の椿とともにあるデザインについて語ります。

※当日は、椿の花をテーマにワークショップも予定しております。

会場：資生堂企業資料館 定員：20名 受講料：無料

申込方法：受講希望の方は資生堂企業資料館(Tel.0537-23-6122)

4月3日(火)より受付開始いたします(先着順)。受講希望の方はお電話でお申し込みください。折り返し、入場整理券(ハガキ)をお送りします。



山名 文夫
『資生堂コールドクリーム
美しくなるための楽しい日課に』
1955年

関連企画② 特別展示 資生堂企業資料館所蔵『百椿図』

日時：2012年4月3日(火)~4月15日(日)

『百椿図』
(模写)



期間中、当館所蔵の「百椿図」を特別展示します。
絵巻のさまざまな場面に描かれた椿の花が豊かに生活にとけこんだ様子をお楽しみください。



来館のご案内

開館時間：10:00~17:00(入館 16:30 まで)
休館日：毎週月曜日(ただし祝日・振替休日の場合は翌日)
夏季、年末年始、展示替休館
入館料：無料
アクセス：JR「掛川駅」下車、南口よりタクシーで5分、徒歩25分。
東名高速「掛川IC」より車で7分。

